

弊社はダイバーシティ&インクルージョンの活動として、経営トップ自ら健康管理最高責任者（CHO）となり、2018年9月に「健康経営宣言」を制定しました。

従業員一人ひとりの心と体の健康づくりを通じて安全で働きやすく、働きがいのある職場づくりを推進するため、働き方改革と健康経営のW改革を行っております。重点施策として、健康経営では“病気の重篤化予防”および“メンタルヘルス対策”を、働き方改革では“労働時間の適正化”および“意識の変革・仕組みの見直し”を実施しています。これらの取組み結果は、従業員の総合満足度等に表れてくると考えております。

引き続き、この活動を従業員および従業員のご家族の皆さまともに進めていくうえで、弊社の健康経営戦略を公開いたします。

※2018年から実施している満足度調査結果（5段階評価）より

1. 「会社は健康経営に積極的に取り組んでいる」

2019年度 3.28点→2020年度 3.52点（+0.23上昇）→2021年度3.56点（+0.04上昇）→2022年度3.58点（+0.02上昇）

2. 「心身ともに健康で働けている」

2019年度 3.29点→2020年度 3.33点（+0.04上昇）→2021年度3.32点（-0.01下降）→2022年度3.22点（-0.1下降）

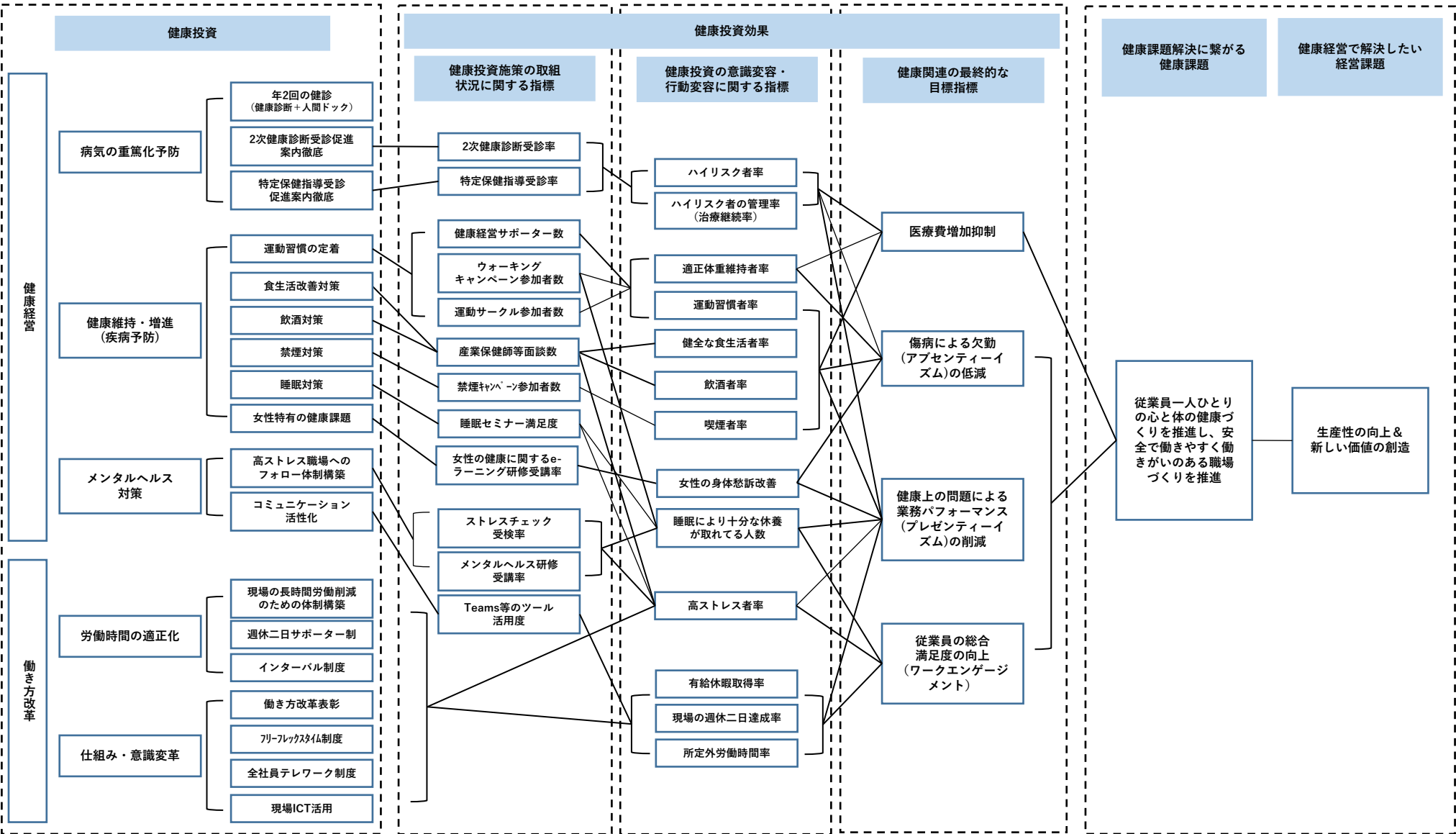
3. 「この会社で働いていて幸せですか（100点満点）」

2020年度 63.71点→2021年度 63.83点（+0.12上昇）→2022年度63.46点（-0.37下降）

また、分析結果から「従業員の総合満足度」は「心身ともに健康で働けている」こと、「心身ともに健康で働けている」ことは「適切な業務量・適切な労働時間」「仕事に集中できている」に相関関係があることが分かりました。

今後も、働き方改革と健康経営のW改革で、従業員の総合満足度を上げることが、生産性の向上と新しい価値創出に繋がるという仮説のもと、各種施策を講じてまいります。

健康経営戦略図 (2023)



【各施策結果】
2023年10月時点

・健康経営サポーター数
488名

・ウォーキングキャンペーン参加者数
334名

・運動サークル参加者数
260名

・睡眠セミナー満足度
91.6%

・メンタルヘルス研修受講率
99.7%

・女性の健康課題に関する研修受講率
89.8%